

あとがき

今回のあとがき執筆の締切は 66 回目の終戦記念日の 8 月 15 日です。今年の終戦記念日はこれまでとは少し違う意味があります。8 月 9 日の長崎原爆の日に長崎市の田上富久市長は初めて脱原発依存を宣言しました。3 月 11 日の東日本大震災により発生した福島第一原子力発電所事故はいまだに収束の兆し也没有せん。原発の安全神話には大きなヒビが入ったままです。1945 年 8 月に広島と長崎が被爆し、日本は世界で唯一の被爆国となりました。1954 年 3 月にはマーシャル諸島近海において操業中であった第五福竜丸がビキニ環礁で行われた水爆実験（キャッスル作戦）に遭遇し、放射性降下物に被爆しました。そして今回の福島第一原子力発電所事故です。これだけ原子力に翻弄されてきた国也没有せん。甲状腺疾患を扱うわれわれ耳鼻咽喉科医にとっても放射線被曝は大きな問題です。原爆と原発は根本的に異なるものですが、原子力の安全平和利用とクリーンエネルギーによる脱原発依存の是非に関して国家的議論として真剣に検討することが被爆国日本の重要な使命だと思います。

さて、今月号の特集ははからずも放射線の平和利用の最先端「これを読めば PET がわかる」です。「PET の基本原理と pitfall」を PET の第一人者である獨協医科大学 PET センター長の坂本攝先生に解説していただきました。各論は頭頸部扁平上皮癌、甲状腺・副甲状腺腫瘍、唾液腺腫瘍、悪性リンパ腫の診断のための PET から大脳機能画像としての PET まで、まさに PET のすべてがわかります。目でみる耳鼻咽喉科は「OK-432 硬化療法が著効した舌根部正中頸嚢胞」、原著は「結核性中耳炎」、「両側耳下腺・涙腺腫脹で発症したサルコイドーシス」、「TPF 療法による化学放射線交替療法が著効した頸部食道癌気管浸潤例」、「対側の舌下神経麻痺を含む多発性脳神経障害をきたしたハント症候群」、「血腫除去を必要とした眼窩骨膜下血腫」の各症例報告です。いずれも臨床の現場で遭遇しそうな症例であり、大変参考になると思います。原子力のことも頭の片隅でお考えいただきながら、ぜひ一読していただきたいと思います。

(小川 郁)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

竹 中 洋

八 木 聡 明

編集委員

吉 原 俊 雄

小 川 郁

丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第 83 巻 第 10 号) 発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2011 年 9 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

〔2011 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税・送料込)〕
冊子のみ 39,950 円 冊子 + 電子版 52,000 円
電子版/個人 39,950 円 電子版/共有 45,950 円

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** < (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。